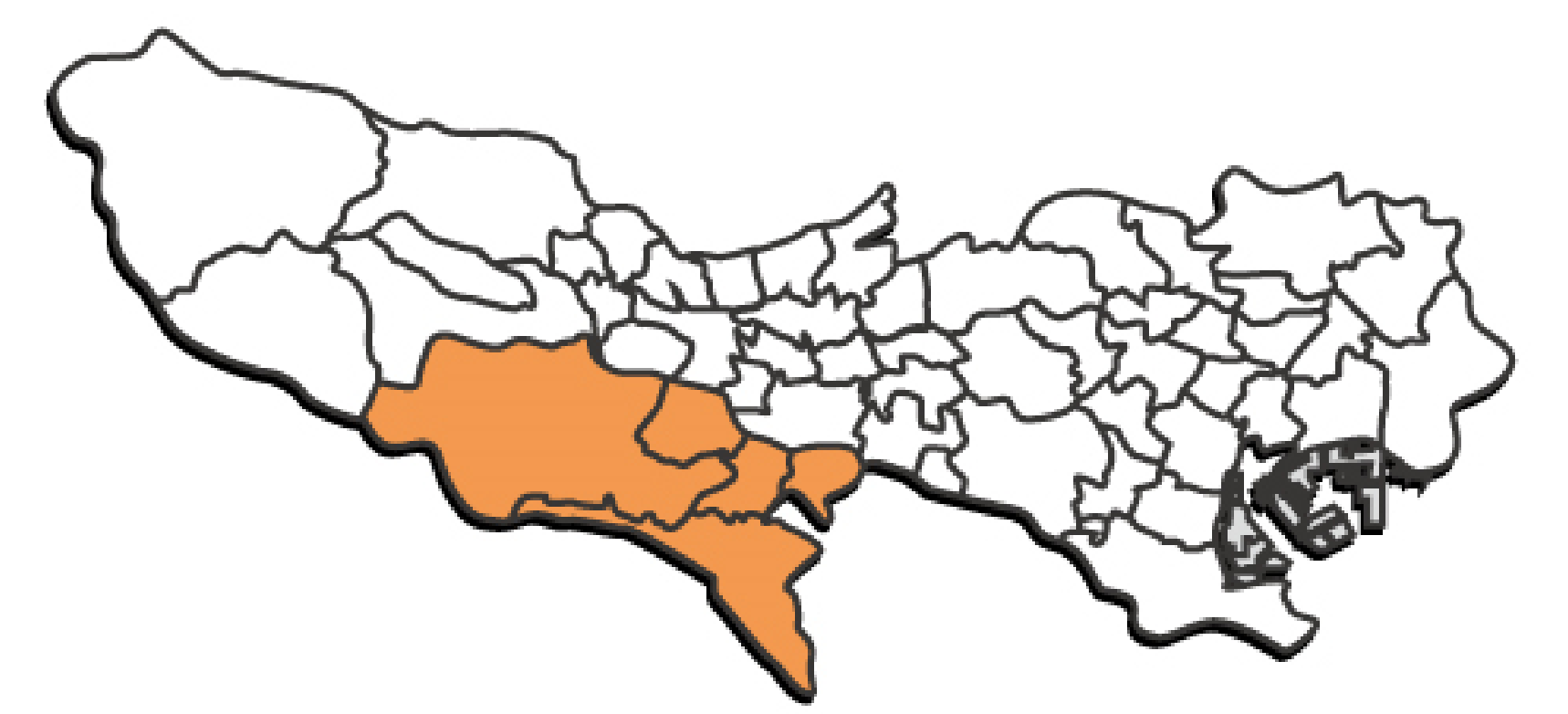


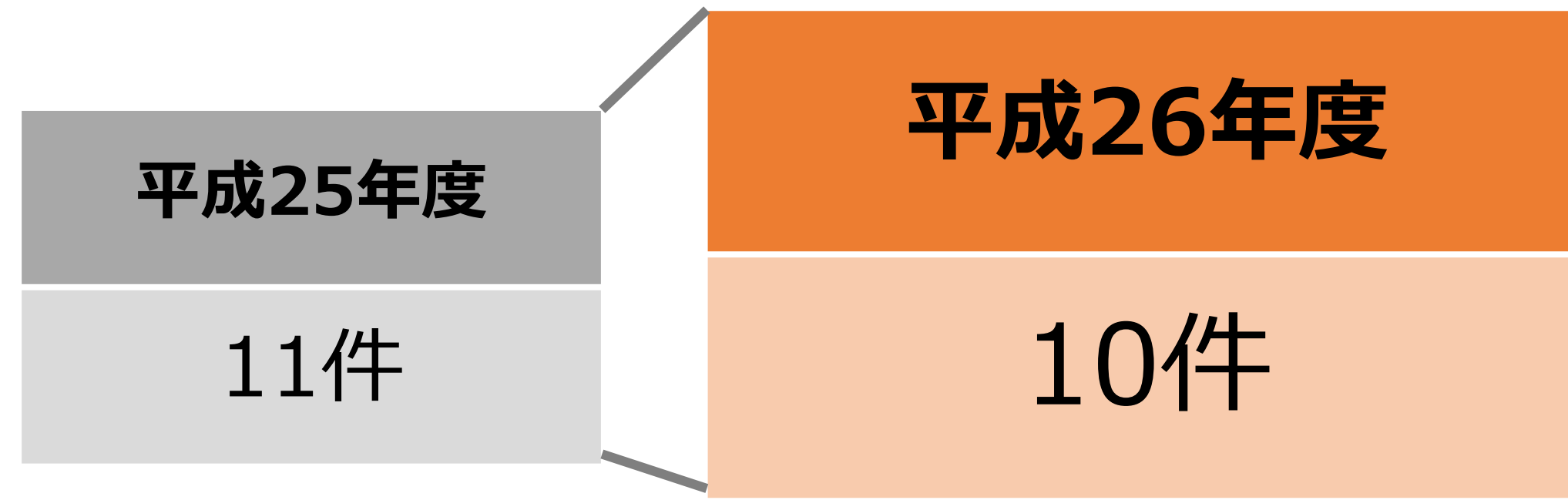
平成25年6月より、東京都高次脳機能障害支援普及事業「専門的リハビリテーションの充実」事業を受託し、活動している。本事業の目的は「高次脳機能障害者のリハビリテーションの質の向上と関係機関等の連携を進め、地域で高次脳機能障害の特性に対応した切れ目のないリハビリを提供できる体制の充実を図る」ことである。今回は平成26年度の取り組みについて報告する。



南多摩地域（八王子・町田・日野・多摩・稲城）

【事業内容】 ①相談事業 ②症例検討会及び圏域連絡会の開催 ③専門職向け研修の開催

【相談事業】 電話、面談による相談支援を実施。



相談内容の例

- 高次脳機能障害の診断ができる病院を紹介してほしい
- 就労支援をしてもらえるような施設はありますか？
- 記憶が続かない。意欲低下に対してどうすればよいか？
- 八王子に家族会はありますか？

【症例検討】



「事例検討会」～就労支援を考える～

日付：平成26年7月13日（日）
開催地：稲城市
参加者：47名

【圏域連絡会】

◆南多摩圏域連絡会

日付：平成26年8月26日（水）
参加者：20名

◆協力施設連絡会

参加施設：北原国際病院（八王子）
永生病院（八王子）
駒木野病院（八王子）
多摩丘陵病院（町田）
天翁会（多摩）
他 1施設
開催回数：全11回

【地域連絡会】



「高次脳機能障がいにつながる医療と福祉in町田」

日付：第1回 平成26年5月23日（金）
第2回 平成27年1月30日（金）
参加者：第1回 93名 第2回 84名

【高次脳ゼミ】 対象：当事者、家族、医療・介護等支援者

「高次脳機能障害者と家族への理解と支援」

日付：平成26年9月7日（日）
講師：上田 敏氏 参加者：154名

「高次脳機能障害者の改善のカギは地域」

日付：平成26年12月6日（土）
講師：長谷川幹氏 参加者：93名

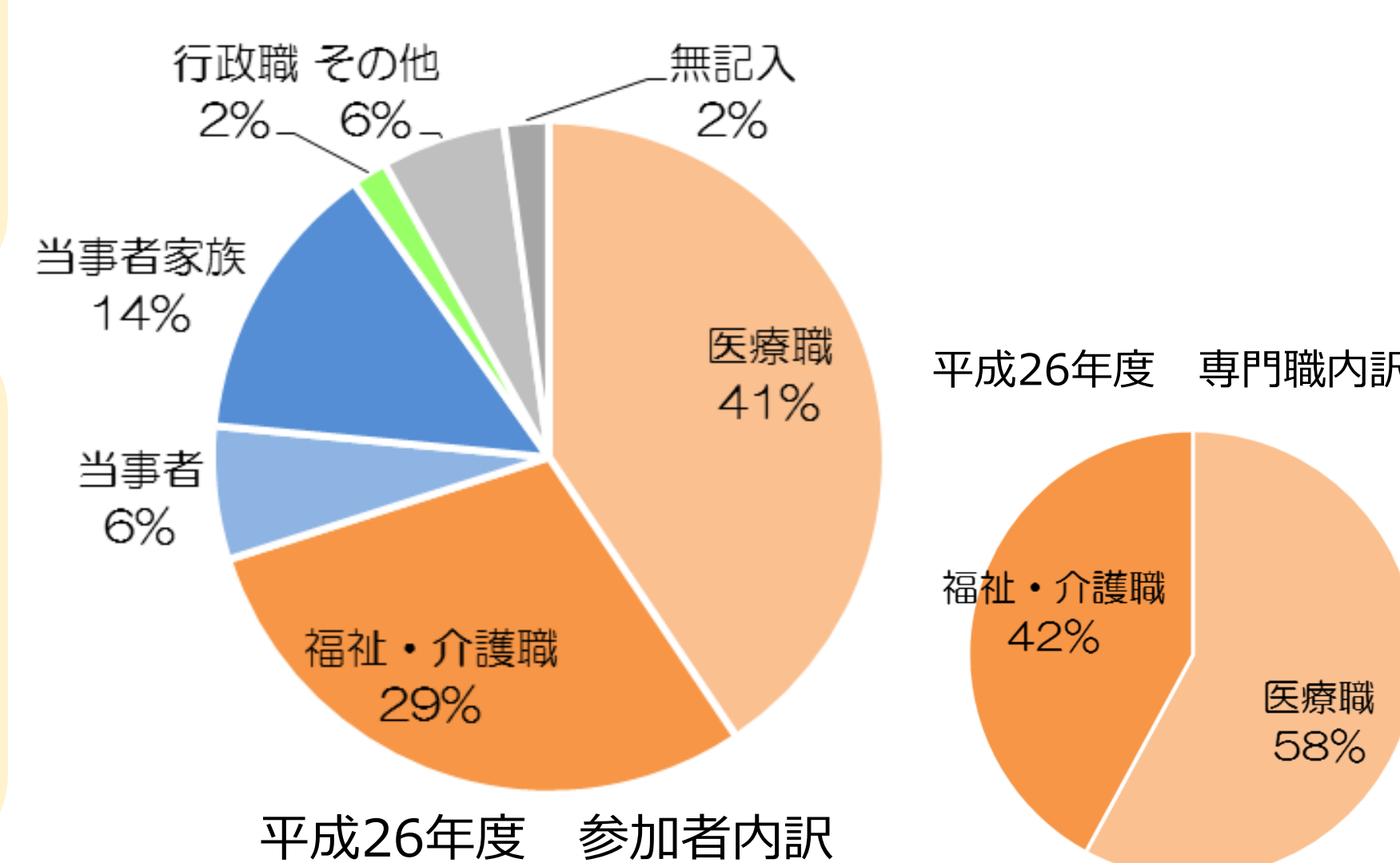
「地域で取り組む高次脳機能障害の回復支援」

日付：平成27年2月11日（水祝）
講師：和田敏子氏 参加者：73名
川邊 循氏

【生活・就労支援セミナー】 対象：医療支援者

「発症1か月から始める生活・就労に向けたリハビリテーション」

日付：平成27年1月18日（日）
講師：笏田文記氏 参加者：58名



	平成25年度	平成26年度
<参加者数>	293名	320名
専門職	58%	70%
当事者・家族	33%	20%
行政職	2%	2%
その他	4%	6%
<専門職内訳>		
医療職	81%	58%
介護・福祉職	19%	42%

考察および今後の展望

初年度に引き続き、計画した事業は全て実施できた。相談件数は依然として少数であり、知名度の向上と継続した広報活動が必要である。課題であった介護・福祉職の研修会参加は増えており、今後とも連携を強化するための症例検討会や講習会を開催したいと考えている。今後の課題として、連絡会の充実、家族会との連携、行政職との連携、ホームページの充実などがあがっている。

